

だれにも当てはまる日常のできごとを

人間味のある、あるがままの目でユーモラスに綴る

GI diary #48

むーらん



chiaf

7月13日（日）

今日は県知事選挙の投票日。事務担当者は、投票所に朝6時半に集合だったのだが、朝、目覚めて時計を見ると、なんとすでに6時半！うわー、どうしよう！絶対間に合わない！大失敗！だから昨夜、もっと早く寝ればよかったのに…。私が来ないことを、みんなどう思っているだろう？考えてもどうにもならないことを、布団の上であれこれ考えてしまう。考えないといけないのは次になすべきこと。まず投票所の責任者のTさんに電話だ。するとTさんには「大丈夫だと」言ってもらえた。よかった。さて次になすべきことは？

7月26日（土）

部屋のエアコンが故障した。新しいものに交換してもらうため、いつもの電器屋さんへ。私は初めからT社の製品しか考えていなかった。今使っているものがそうなので。そこでT社のものを希望していると、担当の人に伝えてもらうようお願いした。夜、担当の人から連絡があり、

「T社のもいいのですがH社のものが絶対におすすめです。まあ、騙されたと思ってつけてみてください。僕の家もH社のですよ」と熱心に言ってくださる。自分で経験したわけではないけれど、今回は担当の人の経験を信じて、H社のものを選んでみようか。（その後、エアコンは私を快適にしてくれています）。

8月7日（木）

職場で、現場に出ていた人から電話があり、自治会の名簿で、ある自治会長さんの連絡先を調べてほしいとのこと。そんな名簿が置いてあるなんて、今まで知らなかったが、私の席の後ろあたりに置いてあるという。急いで探してみるがどうしても見つからない。電話で待っておられると思うと、気持ちがあせって…。あー、見つからない！だめだ。もう一度端からじっくり見てみよう。すると、あ、ここにあった。随分待たせてしまったけれど、無事に自治会長さんの連絡先を伝えることができた。こんなことなら最初からじっくり探せばよかった。

8月21日（木）

隣の席のYさんは、よく褒めてくれる。今日も、私の作った決裁文書を回したら、「とても丁寧にしてくれてありがとうございます」と。仕事が遅いことを気にしていた私は、とても嬉しかった。自分の仕事にも、ひとつくらい、いいことがあるのかもしれないと思えた。私は最近人を褒めたことがあるかなあ。人のいいところを探してどんどん褒めたいと思った。

8月30日（土）

病院の待合室にきれいな生け花が飾ってあった。あんまりきれいなので、写真を撮っておこうかな、と思ったところ、隣に座っていた人が立ち上がり、携帯電話でパチリ。まるで同じことを考えておられたのでびっくり。美しいものに感動するのはみんな同じなのだなあ。

9月7日（日）

ホームセンターで買い物を終え、外にでたらすごい強風。置いてあった植木鉢がごろんと台から落ちたのを見てしまった。店の人は気づいていないよう。もとにもどそうか。でも私が落としたと思われないだろうか。ほうっておいても店の人があとで戻してくれるだろう。でもこのままだと植物がかわいそう…。ええい！と結局植木鉢はもとどおりに置いた。なすべきことはとても簡単なのに、どうしていつもいろいろなことを考えてしまうのだろう。


9月16日（火）

仕事場から少し離れたところにある倉庫へ、備品の確認に行った。置いてあるはずの備品はすべて揃っていて、これで確認はできた、と思ったところへ、書類で満杯の本棚が急に倒れてきた。何で！幸い私の反対側に倒れたのでよかったのだが、もし私の方に倒れてきていたら、たぶん大怪我か、もしかすると死んでいたかも…。今日死ぬかもしれないと思って生きなければいけないというものの、私はどこかで自分だけは大丈夫と思っている。でも今こうして生きていることはほんとうに奇跡なのかもしれない。

9月29日（月）

今日は生まれて初めての胃の内視鏡検査の日。苦しい検査だと前から聞いていたので、朝からお腹が痛くなるくらい緊張していた。さて、鼻に薬を入れることから始まったのだが、「次はバナナくらいの太さを鼻に入れますよ」とか、先生がいつも以上に冗談を言われる。私は笑ったおかげで体から力が抜けていったみたい。あくまで想像だが、先生も私が緊張していることがわかっていたのだろう。お蔭でそれほど苦痛もなく検査は終わった。先生、ありがとう！

（滋賀県滋賀郡CLインストラクター）

 [目次へ戻る](#)